

資料8 教室での掲示例

(私たちの一日の生活)

登校	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気にあいさつしよう</li> <li>交通規則を守ろう</li> </ul>
朝の学活	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の目標をきめよう</li> <li>話を真剣にきこう</li> </ul>
授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>名前を呼ばれたら大きな返事をしよう</li> </ul>

▼創意の時間を生かした楽しい活動▲

●トリム活動  
 各種運動や遊戯的活動を行うことにより、運動の楽しさを味わいながら、ふれ合いを深めていく。

実施方法は、前半二十分間は体力トレーニング分類表にのっとり、トレーニングを行う。後半二十分間は各クラス創意を生かした遊戯的活動を中心として楽しく体を動かすことを大切にしている。次の遊戯的活動の内容は最後の「話し合い」で決定しておく。生徒は非常に好きな時間である。

●ふれ合い集会

生徒が生き生きと活動する集会を行うことにより、みんなの心が通い合う、ふれ合いの場を作りあげる。「一人一人が主役」となる「ふれ合い集会」では、それぞれが何らかの役割をもち、準備や活動を進めていく。一人も欠けることなく、集団への所属感を強めていく活動で極めて有効である。(資料11)

資料9 学級会活動の基本型

段階	過程	授業の流れ	主な活動
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提示</li> <li>焦点化 (気づく)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題をつかむ (1)問題点や疑問点を明確にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な資料や事前の計画委員会よりの問題の提示により、クラス全員の共同の問題として把握させる。 (質疑応答)</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>原因の分析と追求</li> <li>対処の追求と方法の決定 (考える)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の方法を考え、議決する。 (1)実態把握と原因の追求 (2)協同解決のための意見交換 (3)学級としての解決のし方の議決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小集団または学級での話し合い、討議を中核として、一人一人の意見を交換し合い、相互理解のもとで、学級集団としての解決方法と意志を決定する。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践化 (高める)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践の具体化 (1)決定事項の確認 (2)明日からの行動への具体化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>決定事項を確認すると共に教師のやる気をゆさぶる援助指導により、実践への構えをもち上げる。</li> </ul>

五、成果と課題

研究を通し次のような点を成果として挙げることができる。

- (一) 一人一人を生かす生徒指導をするためには、生徒を良く知ることが大切であるということが確かめられた。
- (二) 「話し合い」を通して、人間関係づくりが全ての基本となることが立証できた。
- (三) 都市部生徒に対する劣等意識を活動が進むにつれて小さくすることができた。
- (四) 教師自身が実践を行っていく中で真の共通理解の重要性を体得することができた。

とができた。

研究が進めば進むほど、生徒指導は奥が深く、課題が山積していることがわかってくる。

- (一) 全校的な視野で見ると成果は確実であるが、一人一人の生徒に焦点をあてると、まだまだ主体的に活動に取り組めない生徒が見られる。これらの生徒に対する「学びとる力」「生き方」を身につけさせる指導のあり方が課題の一つである。
- (二) 教師一人一人が生徒指導に関する認識を自らの「生き方」としてとらえられるように研修を積み重ねる必要がある。なぜなら、様々な生徒指導の実践場面では、教師の価値感や生き方

資料10 学級指導の基本型

段階	過程	授業の流れ	主な活動
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識化</li> <li>共通化 (気づく)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の提示 事例発表等により問題を発見し、問題をしぼる</li> <li>問題意識の共通化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達段階に応じた資料の活用を工夫し、一人一人が明確に自己の問題として、把握できる手だてを考える。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>原因の分析と追求</li> <li>対処の追求 (考える)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の方法を考える (1)個人への深化 (2)相互解決のための意見交換 (3)自己理解の方向づけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い活動を重視し、相互理解、相互啓発によって一人一人の意志を決定する。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲化 (高める)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践への方向づけ (1)自己対策の発見 (2)実践への意志決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が主体的に実践しようとする心をゆさぶる教師の指導。</li> <li>個別指導に重点をおき、やろう、やらねばならないとする個別化をはかる。</li> </ul>

資料11 ふれあい集会の年間計画

月	テーマ	月	テーマ
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>校歌紹介</li> <li>修学旅行の思い出</li> </ul>	10	私たちの学級
5	部活動紹介	11	専門委員会の取り組み
6	学級紹介	12	新年のクラス方針
7	学級歌紹介	1	雪像づくり計画
9	新人戦へ向けて	2	3年生一後輩におくる
			在校生一先輩におくる